



おかげさまで
20周年



第20期 株主通信

2016年4月1日 ~ 2017年3月31日

JM ジャパンマテリアル株式会社

証券コード：6055



代表取締役社長 田中久男

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、当社グループ第20期(2016年4月1日から2017年3月31日まで)事業年度が終了いたしましたので、ここに営業の概況についてご報告申し上げます。

当社は、2017年4月28日をもちまして、おかげさまで設立20周年を迎えることができました。これもひとえに株主の皆様をはじめとするステークホルダーの皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

設立当初は主力得意先にとってワン・オブ・ゼム(選択肢の一つ)だった当社も、今では必要不可欠なオンリーワンの存在になりつつあると思います。最先端技術を有する半導体・液晶工場を支える技術者集団として、日本が世界に誇る半導体・液晶の国際競争力向上に向けてこれまで以上にお役に立てる存在になりたいと思っております。

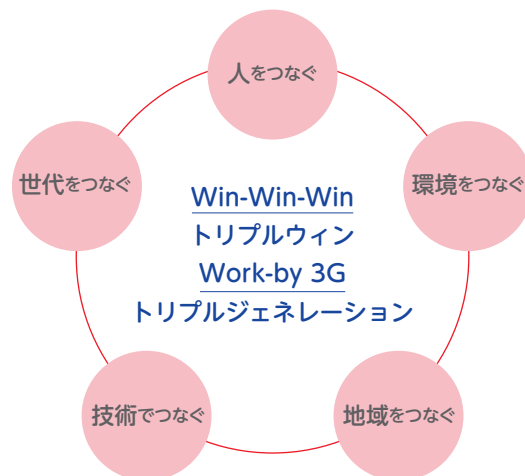
■経営ビジョン

Win-Win-Win(トリプルウィン)

Work-by 3G(トリプルジェネレーション)

■特徴

- ・当社は、「安全最優先」「お客様は良きパートナー」「お取引先と地域の皆様は良きサポーター」「社員は家族」を企業理念とし、安全・安心を基軸とした「安全最優先」の意識のもと、お客様の期待を超える質の高い商品やサービスを提供しております。
- ・半導体及び液晶関連工場向けにインフラ設備事業を展開しているエレクトロニクス関連事業、画像・映像・放送に関わる画像処理製品の販売・保守を行うグラフィックスソリューション事業を2大柱として事業を展開しております。



ジャパンマテリアルは、お客様・お取引先と地域の皆様・社員の3者に利益をもたらす「Win-Win-Win」、18歳～70歳代の3世代が働ける「Work-by 3G」を掲げ、更なる成長を追求していきます。

第20期ダイジェスト

Summary

売上高

223億26百万円

前年同期比19.1%増



営業利益

45億58百万円

前年同期比12.4%増



経常利益

45億88百万円

前年同期比11.7%増



親会社株主に帰属する当期純利益

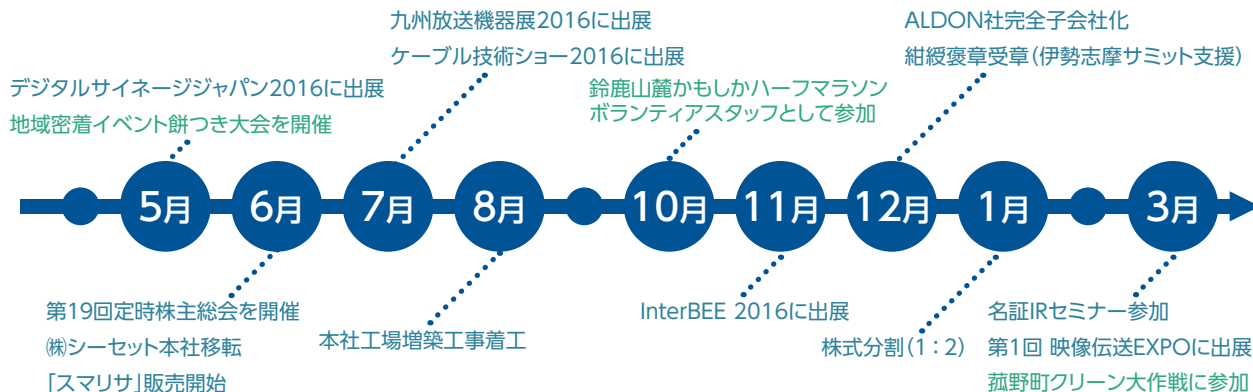
30億50百万円

前年同期比13.3%増



●主に国内及び海外での特殊ガス販売、半導体製造装置メンテナンス、オンサイト事業が順調に推移

トピックス



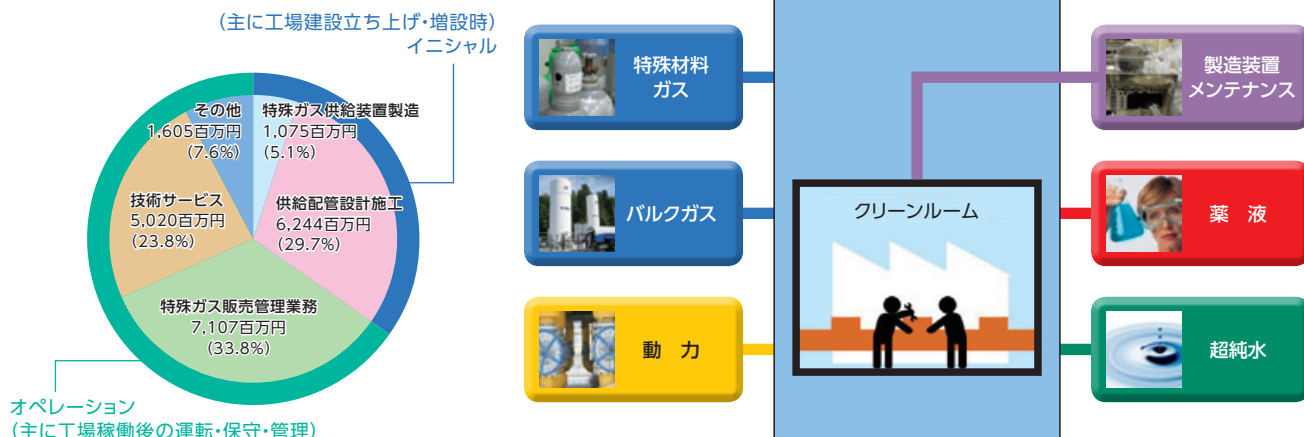
エレクトロニクス関連事業

事業内容

半導体・液晶等の製造工程で不可欠な特殊ガス、超純水、薬液等に関連するインフラ事業、動力・空調等を含めたライフライン管理を一括して請負うトータルファシリティマネジメントを中心に事業展開しております。更にお客様工場の中心部に関わる半導体製造装置の保守・メンテナンス、セカンドパーツの製造・販売等での技術サービスを提供しております。



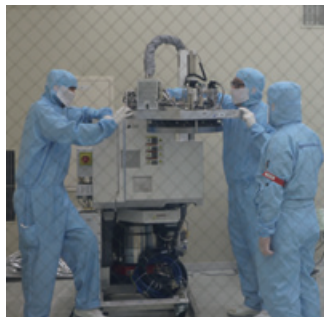
エレクトロニクス関連事業 内訳



本社工場拡張 トレーニング用クリーンルームを増設

本社工場を拡張し、クリーンルームを増設しました。このクリーンルームには実際の製造現場で使用されている最先端の半導体製造装置を設置しております。当該製造装置を分解して組み立てる実習を繰り返し行い、実際の業務に即したトレーニングを実施することで新人エンジニアを育てます。

また、このクリーンルームは大手半導体製造装置メーカーの日本における唯一のトレーニング施設とされているため、当社の新人エンジニアに限らず、大手半導体製造装置メーカーエンジニアのトレーニングにも利用されています。



グラフィックスソリューション事業



グラフィックス製品

マルチディスプレイ用グラフィックボード、デジタルサイネージ関連商品などの販売・サポート、コンテンツ制作、システム構築を行っております。

小売店やレストラン、美術館・博物館、金融機関、教育機関、医療機関、アート・エキシビジョンなど幅広い分野で活用されています。

放送用機器

3Dキャラクタージェネレーターやスタジオオートメーションシステム、その他各種放送用ビデオ機器などの販売・サポートを行っております。

放送局やポストプロダクションで採用されています。

3D CADビューワソフト

顧客の「もっと気軽に、簡単に」の声に応え、3次元データ有効活用を目的とした技術系アプリケーションを開発・販売しております。

観光名所に「スマリサ」が導入されています

スマリサは、デジタルサイネージプレーヤーBrightSignとスマートフォンアプリが連動することで、今までにない新しいサービス提供を可能にしたデジタルサイネージシステムです。スマリサを利用する名所や施設に訪れた際、各所に設置されたビーコンの信号に反応して、スマリサアプリがその名所・施設のアプリに姿を変えます。1つのアプリでいくつもの名所の観光を楽しむことができる、利便性の高いサービスです。美術館や博物館、宿泊施設など、施設内や周辺情報の表示や音声ガイダンスのほか、クーポンやオリジナルゲームの配信などにも最適です。





当期の業績についてお聞かせください。

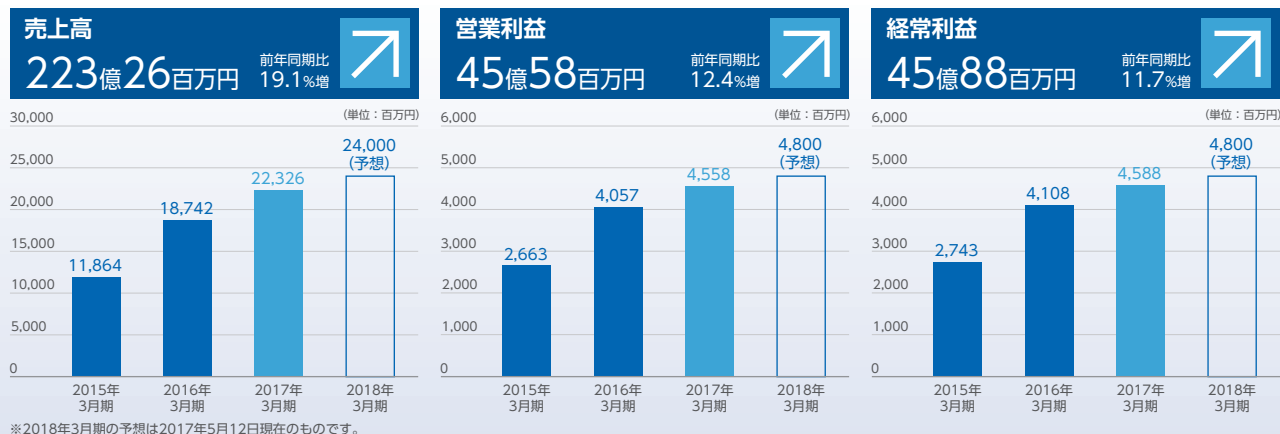
当社グループのエレクトロニクス関連事業において、主要顧客である半導体・中小型ディスプレイ工場における設備投資が引き続き実施されたことから、設備投資に伴い発生するイニシャル部門は堅調に推移しました。また、生産活動に伴い発生するオペレーション部門は、主要顧客工場での生産活動が順調に推移したことから、主に国内及び海外での特殊ガス販売、半導体製造装置メンテナンス、オンサイト事業が順調に推移しました。

グラフィックスソリューション事業においては、展示会を通じて製品のPR活動や、既存取引先に対する積極的な営業活動を継続したことで、主にデジタルサイネージ向け販売、映像ケーブル販売を中心に堅調に推移しました。

太陽光発電事業では、三重県内で3か所の太陽光発電所(出力合計3.9メガワット)が稼働しております。

以上の結果、業績に関しては下記のとおりになりました。

業績ハイライト



次期の見通しについてお聞かせください。

当社グループが属する半導体業界におきましては、車載向けやデータサーバー向けの需要が市場をけん引し、中小型ディスプレイ業界におきましては、有機ELディスプレイやフレキシブル液晶などの新たな技術が普及すると想定されます。

このような状況の中、当社グループは、新規顧客の開拓や既存顧客における事業範囲の拡大を積極的に行い、事業領域の拡大を図ってまいります。

エレクトロニクス関連事業におきましては、オペレーション部門の半導体製造装置メンテナンスにおいて、顧客からの需要に応えるべく、積極的に技術者の採用を行うとともに、技術者を育成し人材を確保することで事業領域の拡大に努めます。更に、当社グループの強みであります「トータルファシリティマネジメント(TFM)」を活かして他社との差別化を図り、お客様の期待以上の価値を提供することで安定収益基盤の拡大を図ってまいります。また、

イニシャル部門では、主要顧客における大型設備投資が継続的に実施されることが見込まれるため、積極的な営業活動を展開することで確実に受注に繋げてまいります。

一方、グラフィックスソリューション事業におきましては、デジタルサイネージ分野では商品のコンテンツ制作からシステム構築のトータルソリューションを提供することで、東京オリンピック・パラリンピックが控えるなか訪日外国人観光客向けに多言語で情報提供するスマホ連動型デジタルサイネージ(スマリサ)の普及活動を推進してまいります。更にマルチディスプレイ用グラフィックボード、リアルタイム3Dキャラクタージェネレーターなど積極的な営業活動を展開することで販売拡大を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも、一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

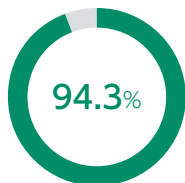


事業概況

Segment Overview

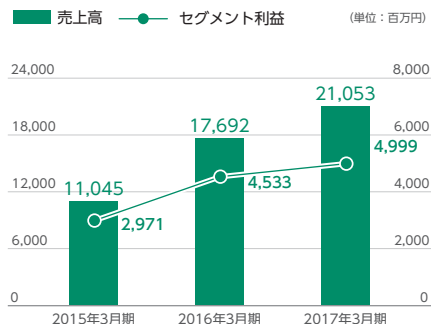
エレクトロニクス関連事業

事業別売上高比率



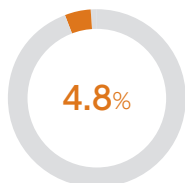
売上高	210億53百万円 (前年同期比 19.0% 増)
セグメント利益	49億99百万円 (前年同期比 10.3% 増)

半導体製造装置メンテナンス事業が拡大
特殊ガス販売管理業務、技術サービス等のオペレーション部門が好調に推移



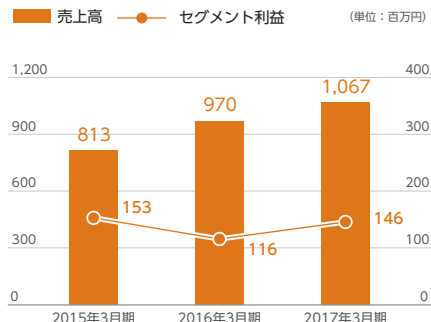
グラフィックスソリューション事業

事業別売上高比率



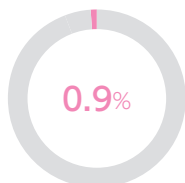
売上高	10億67百万円 (前年同期比 10.0% 増)
セグメント利益	1億46百万円 (前年同期比 25.0% 増)

展示会を通じた製品のPR活動を積極的に実施
デジタルサイネージ向け販売、映像ケーブル販売が堅調に推移



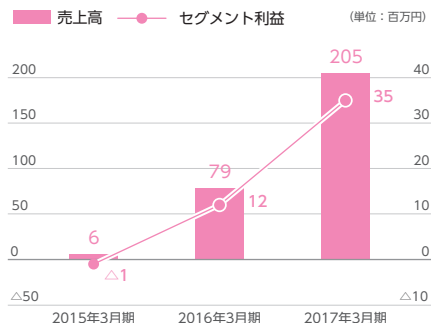
太陽光発電事業

事業別売上高比率



売上高	2億5百万円 (前年同期比 158.8% 増)
セグメント利益	35百万円 (前年同期比 186.8% 増)

前連結会計年度に稼働を開始した太陽光発電所(2015年10月に2.0メガワット相当及び2016年2月に1.5メガワット相当が稼働)が通年で寄与



連結財務データ

Consolidated Financial Statements

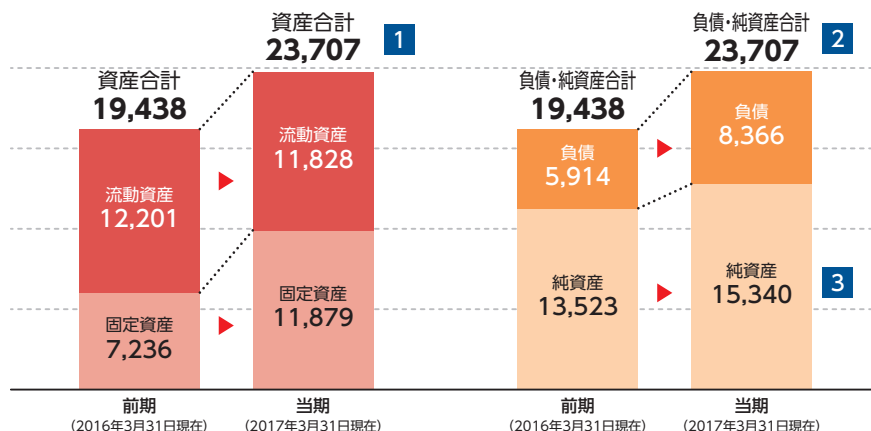
詳細情報は

ジャパンマテリアル IR

検索

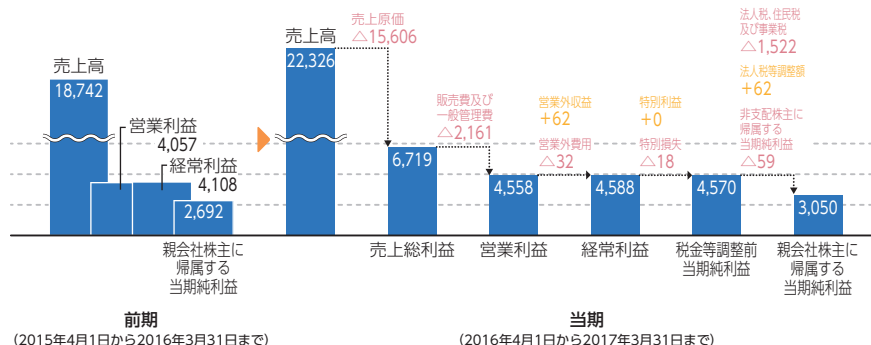
連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



ポイント

1 資産合計

資産合計は237億7百万円となり、前期末に比べ42億69百万円増加しました。主にリース債権及びリース投資資産等が増加しました。

2 負債合計

負債合計は83億66百万円となり、前期末に比べ24億52百万円増加しました。主に短期借入金、リース債務等が増加しました。

3 純資産合計

純資産合計は153億40百万円となり、前期末に比べ18億16百万円増加しました。主に子会社株式の追加取得により資本剰余金が減少した一方で、利益剰余金が増加しました。

4 営業活動によるキャッシュ・フロー

収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益45億70百万円、たな卸資産の減少12億60百万円であります。支出の主な内訳は、リース債権及びリース投資資産の増加52億86百万円、法人税等の支払額14億81百万円、仕入債務の減少8億3百万円、売上債権の増加5億4百万円であります。

5 投資活動によるキャッシュ・フロー

収入の主なものは、定期預金の払戻による収入6億円であり、支出の主なものは、有形固定資産の取得による支出6億91百万円であります。

6 財務活動によるキャッシュ・フロー

収入の主なものは、短期借入金の純増額22億88百万円であり、支出の主な内訳は、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出6億40百万円、配当金の支払額6億33百万円であります。

会社情報

Corporate Data

会社概要(2017年3月31日現在)

社 名：ジャパンマテリアル株式会社
(英文社名 JAPAN MATERIAL Co.,Ltd.)
設立年月日：1997年4月28日
資本金：13億1,781万5,250円
上場市場：東証一部、名証一部
代表者：代表取締役社長 田中久男
従業員数：(連結)825名、(単独)208名 ※契約社員及びパートタイマー社員含む
本店所在地：〒510-1311 三重県三重郡菟野町永井3098番22

関係会社(2017年3月31日現在)

名称	住所	資本金 (単位:百万円)	主要な事業の内容
株式会社東和商工	三重県四日市市	40	エレクトロニクス関連事業
株式会社JMテック	三重県三重郡菟野町	30	エレクトロニクス関連事業
株式会社クスノケミコ	三重県四日市市	30	エレクトロニクス関連事業
株式会社JMエンジニアリングサービス	三重県三重郡菟野町	30	エレクトロニクス関連事業
株式会社PEK	大阪府堺市	20	エレクトロニクス関連事業
株式会社シーセット	東京都新宿区	19	グラフィックスソリューション事業
株式会社バック・ステージ	東京都中央区	5	グラフィックスソリューション事業
茂泰利科技股份有限公司	台湾	NTD 110,000千	エレクトロニクス関連事業
ALDON TECHNOLOGIES SERVICES PTE LTD	シンガポール	SGD 340千	エレクトロニクス関連事業
ADCT TECHNOLOGIES PTE LTD	シンガポール	SGD 200千	エレクトロニクス関連事業

役員(2017年6月29日現在)

代表取締役社長	田 中 久 男
常務取締役執行役員	深 田 耕 志
取締役執行役員	長 谷 圭 祐
取締役執行役員	小 川 圭 造
取締役執行役員	坂 口 好 則
取締役執行役員	甲 斐 哲 郎
取締役執行役員	矢 内 信 晴
取締役執行役員	田 中 智 和
社 外 取 締 役	町 田 和 彦
社 外 取 締 役	大 島 次 郎
常 勤 監 査 役	喜 多 照 幸
社 外 監 査 役	安 井 広 伸
社 外 監 査 役	春 馬 葉 子
執 行 役 員	田 中 宏 典
執 行 役 員	森 正 勝

グループネットワーク

海外

【台湾】

茂泰利科技股份有限公司



【シンガポール】

ALDON TECHNOLOGIES SERVICES PTE LTD
ADCT TECHNOLOGIES PTE LTD



ジャパンマテリアル株式会社

本社工場
四日市事業所
四日市TGM事業所

株東和商工
株JMテック
株クスノケミコ
株JMエンジニアリングサービス
株PEK四日市事業所

株JMエンジニアリングサービス
広島事業所

株東和商工
大牟田事務所



石川事業所
株JMテック能美事業所
川北事業所
白山事業所
株PEK能美事業所
白山事業所

茂原サービスセンター
株JMテック茂原事業所

株JMテック
柏崎事業所

東京本部
株シーセット
株バック・ステージ

株シーセット浜松オフィス

株PEK
堺事業所
名古屋営業所
株JMテック東浦事業所

株式情報

Stock Information

株式の状況(2017年3月31日現在)

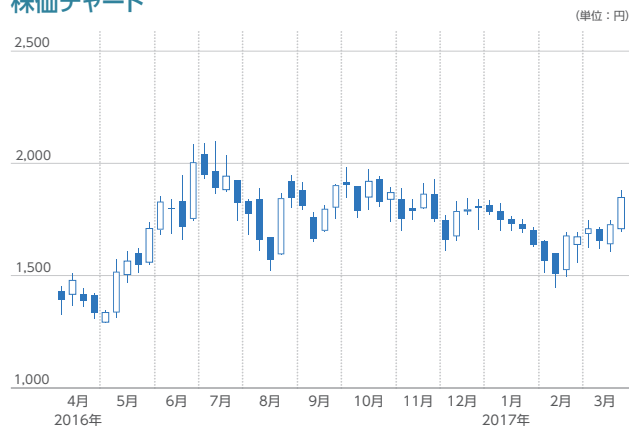
発行可能株式総数 108,000,000株
 発行済株式の総数 34,256,994株(自己株式792,846株を除く)
 単元株式数 100株
 株主数 4,560名

大株主の状況(2017年3月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
	株	%
田中 久男	6,771,300	19.8
田中 智和	5,233,100	15.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,380,400	9.9
喜多 照幸	1,451,020	4.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	913,800	2.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	763,100	2.2
株式会社百五銀行	720,000	2.1
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	657,100	1.9
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM/ LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	650,000	1.9
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN (CASHPB)	577,999	1.7

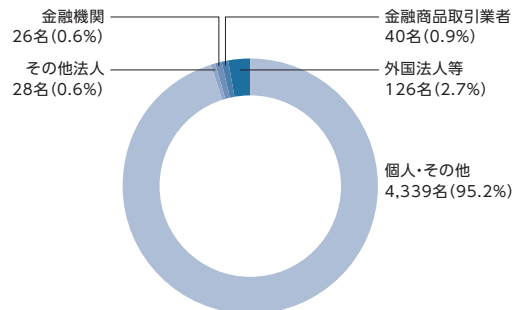
(注)持株比率は発行済株式総数から自己株式数(792,846株)を控除して計算しております。

株価チャート

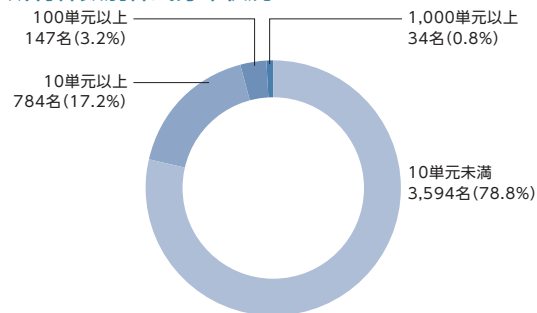


2017年1月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

所有者別株式分布状況



所有株数別株式分布状況



株式分割について

株式の流動性向上及び投資家層の拡大を図ることを目的として、2017年1月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施いたしました。なお、毎年9月30日現在の株主様を対象とした株主優待の内容に変更はありません。

IRサイトのご案内

IR情報の詳細につきましては、当社IRサイトをご覧ください。

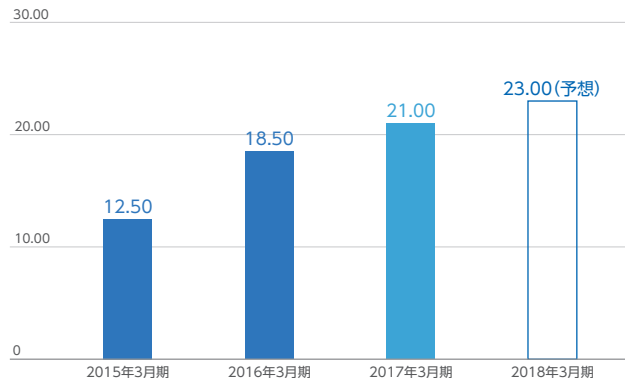
http://www.j-material.jp/jm_ir.html

株主還元

Premium Redemption to Shareholders

配当金の推移

(単位：円)



2014年12月1日付けで普通株式1株につき3株、2017年1月1日付で1株につき2株の株式分割を行っており、2015年3月期の期首に当該株式分割が行われたものとして表示しております。

株主優待制度のお知らせ

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの株主様に中長期的に保有していただくため株主優待制度を導入しております。

毎年9月30日現在の株主名簿に記録された当社株式1単元（100株）以上保有されている株主様を対象に下記の通りQUOカードを贈呈いたします。



保有株式数		優待内容
5,000株以上		クオカード 5,000円分
1,000株以上	5,000株未満	クオカード 3,000円分
100株以上	1,000株未満	クオカード 1,000円分

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

配当金受領
株主確定日 3月31日（期末配当）

定時株主総会 毎事業年度末日の翌日から3ヶ月以内

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 0120-232-711（通話料無料）

公告掲載方法 当社の公告は電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL <http://www.j-material.jp/>

証券コード 6055

【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

JM ジャパンマテリアル株式会社

〒510-1311 三重県三重郡菰野町永井3098番22
TEL.059-399-3821 FAX.059-399-3828
<http://www.j-material.jp/>



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。